

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和3年9月16日(2021.9.16)

【公開番号】特開2020-145822(P2020-145822A)

【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2020-037

【出願番号】特願2019-39788(P2019-39788)

【国際特許分類】

H 02 G 11/00 (2006.01)

B 60 R 16/02 (2006.01)

H 02 G 3/04 (2006.01)

【F I】

H 02 G 11/00

B 60 R 16/02 620 A

H 02 G 3/04 087

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月4日(2021.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

(4) 前記電線は、前記ベース部材に沿って複数本並んで固定されており、前記余地部は、前記電線が固定された部分の両側にそれぞれ形成されており、前記プロテクタは、それぞれの前記余地部を挟持する一対の挟持部を2組有しており、2組の前記一対の挟持部は、一対の連結部によって連結されており、前記一対の連結部は、ヒンジによってさらに連結されていてもよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

したがって、プロテクタ60がワイヤハーネス30に組み付けられ、一対の連結部42がワイヤハーネス30の左右方向両側に配置されると、図5に示すように、一対の連結部42における複数の第2突出部54が、余地部36を左右方向両側から前後方向に互い違いに押圧し、余地部36が一対の挟持部50間を左右方向に蛇行するように配置される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

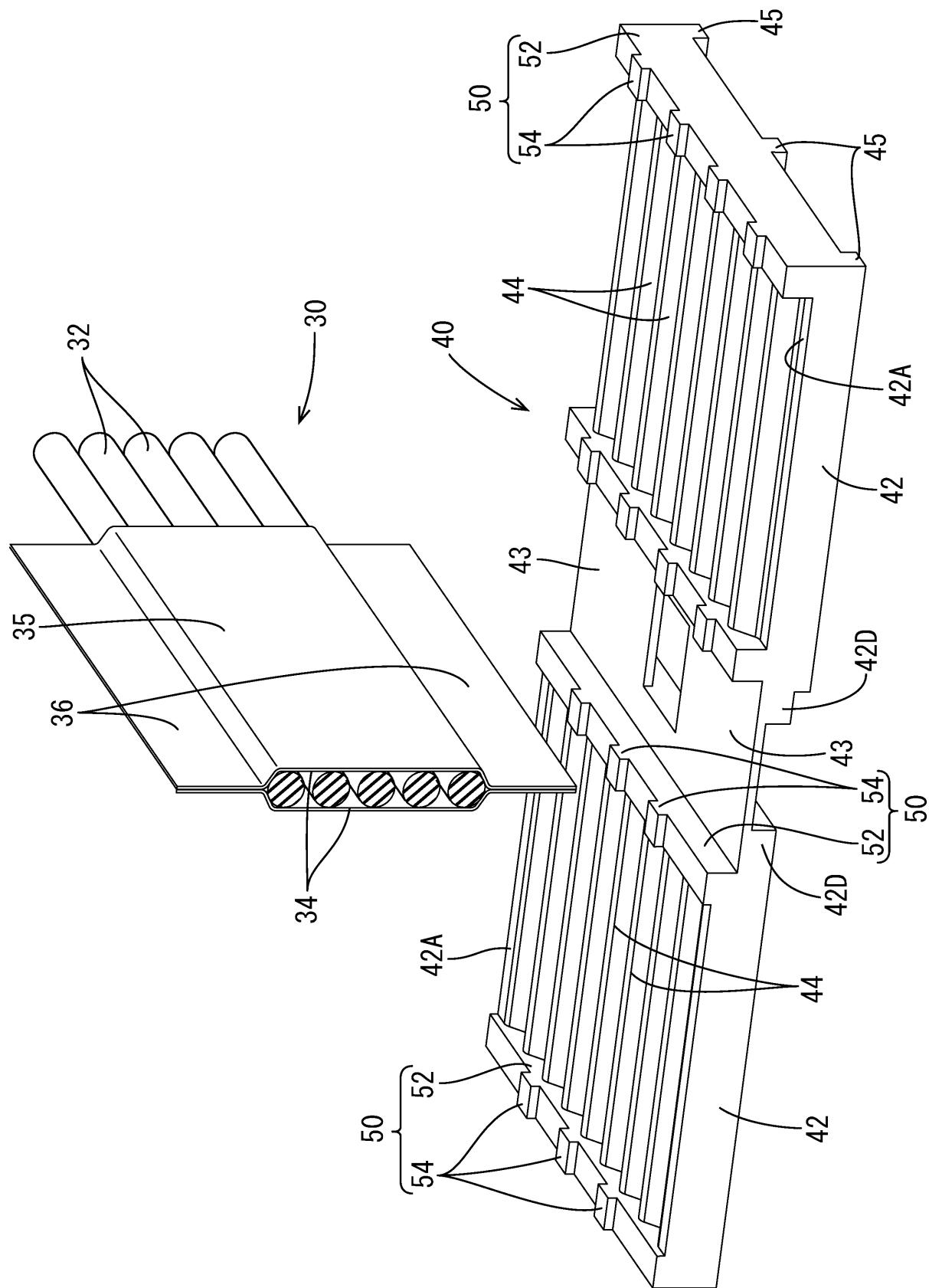
また、ワイヤハーネス30を引っ張るような荷重がワイヤハーネス30に加わった場合には、荷重はワイヤハーネス30の余地部36と保持部材40とプロテクタ60の前壁74および後壁75とに加わることになる。つまり、電線32に対して荷重がかかることを抑制し、電線32が損傷することを抑制できる。

【手続補正4】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0069**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0069】**

電線32は、ベース部材34に沿って5本（複数本）並んで固定されており、余地部36は、電線32が固定された電線固定部35の両側にそれぞれ形成されており、プロテクタ60は、図10に示すように、それぞれの余地部36を挟持する一対の挟持部50を2組有しており、2組の一対の挟持部50は、一対の連結部42によって連結されており、一対の連結部42は、ヒンジ43によってさらに連結されている。

【手続補正5】**【補正対象書類名】**図面**【補正対象項目名】**図7**【補正方法】**変更**【補正の内容】**

【図 7】



【手続補正 6】

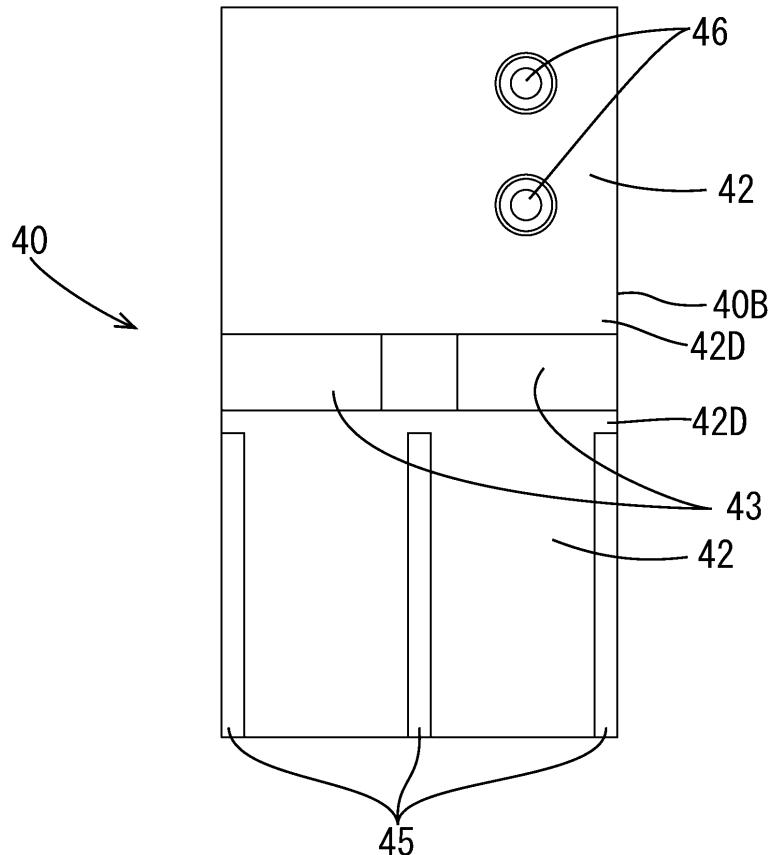
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 8】



【手続補正 7】

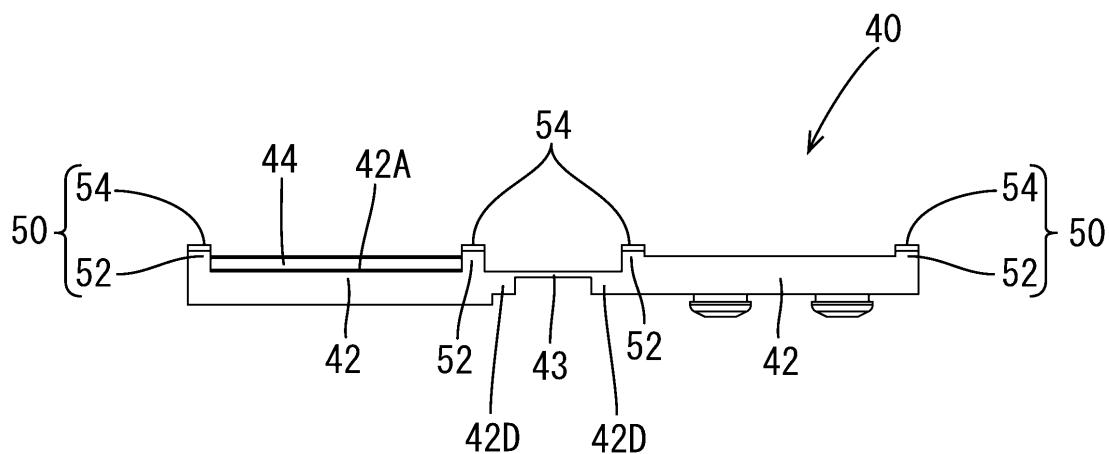
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 9】



【手続補正 8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 10】

